

新しい時代を見据えた学校教育の充実に向け、子どもと向き合う教員が、自らの意欲と能力を最大限に発揮し、教育の質を高められる勤務環境を整備するため、教員の働き方改革を推進する。

## 1. 最近の動向

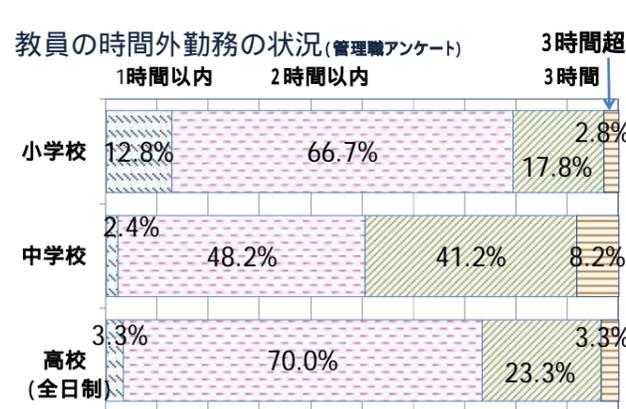
(平成29年)

- 3月 県教委 「教員の多忙化改善に向けた取組方針」策定
- 4月 文科省 「教員勤務実態調査(H28)」速報値 公表
- 6月 文科省 中央教育審議会 諮問  
「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」
- 8月 文科省 中央教育審議会 学校における働き方改革特別部会 「緊急提言」

## 2. 教員多忙化の現況

### (1) 県教委 教員の多忙化に関するアンケート調査(H26)

- 課題 時間外勤務の常態化 時間外勤務の多い教員の固定化
- 多忙化の原因 校務分掌(小中高) 出張・研修会(小中) 部活動指導(中高) 学習指導(高)

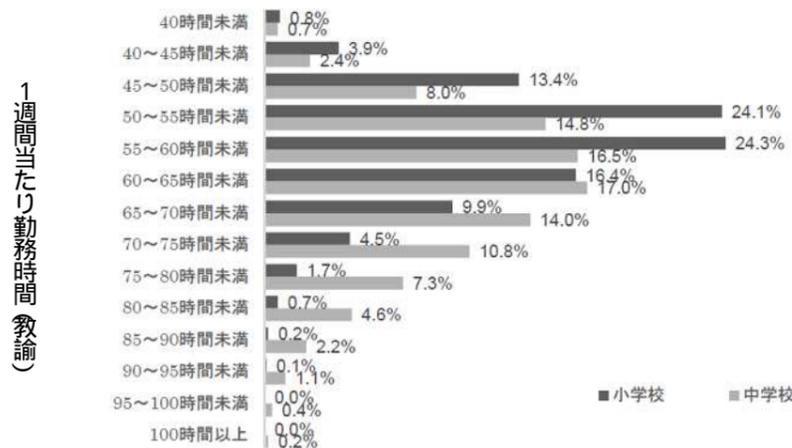


多忙化の原因

	小学校	中学校	全日制	特支
学習指導	22.2%	10.6%	63.3%	54.5%
会議等	25.6%	23.5%	6.7%	63.6%
校務分掌	55.6%	43.5%	46.7%	45.5%
進路指導	-	4.7%	30.0%	0.0%
児童・生徒指導	16.1%	28.2%	16.7%	9.1%
特別児童生徒対応	18.9%	16.5%	3.3%	0.0%
学校行事	22.2%	14.1%	6.7%	0.0%
出張・研修会	53.3%	56.6%	6.7%	27.3%
研究校・学校課題	8.9%	1.1%	3.3%	0.0%
各種調査・アンケート	36.7%	22.4%	3.3%	0.0%
部活動指導	-	49.4%	73.3%	9.1%
保護者対応	14.4%	9.4%	13.3%	27.3%

### (2) 文科省 教員勤務実態調査(H28)(速報値)

- 勤務時間 前回調査(H18)に比べ、いずれの職種でも勤務時間が増加  
小学校・中学校ともに、多くの教員が長時間勤務
- 増加要因 (平日) 授業(小中) 授業準備(中) 成績処理(中) 学年・学級経営(小中)  
(土日) 部活動(中) 成績処理(中)



## 3. 本県の取組状況

### (1) 教員の多忙化改善に向けた取組方針(H29.3 策定)

- 教員が、子ども一人ひとりと向き合う時間を確保することにより、教育の質を高めるため、教員の多忙化改善を推進
- 市町村教委、学校で改善計画を作成。平成29~32年度の4年間で、継続的、計画的に業務改善を実施

#### 【取組内容】

- 多忙化対策の組織設置(教委・学校)
- 改善計画作成(教委・学校)
- 部活動休養日設定(学校)
- 「きずなの日」設定(学校)
- 勤務実態把握(学校)
- 会議・調査等効率化(教委)
- 外部人材の活用促進(教委)
- 校務支援システム導入検討(教委)
- 会計業務の管理検討(教委) 等

### (2) 学校における仕事と家庭の両立支援(県立学校)

- 山梨県版イクボス宣言(H29.4)
- マネジメントプラン作成
- 実施状況を人事評価に反映

### (3) 部活動負担の軽減

- 運動部活動外部指導者派遣事業(H29 新規)
- 土日休養日の顧問教員増加を目標設定

## 4. 中教審 特別部会「緊急提言」の概要

校長及び教育委員会は学校において「勤務時間」を意識した働き方を進めること  
 全ての教育関係者が学校・教職員の業務改善の取組を強く推進していくこと  
 国として持続可能な勤務環境整備のための支援を充実させること

#### 【主な具体策】

- 教職員の勤務時間の把握(タイムカード、ICT等の活用)
- 休憩時間の確保(会議・部活動等の時間設定、部活動休養日、学校閉庁日設定等)
- 業務改善方針、計画の策定
- 統合型校務支援システム導入促進、教材共有化の積極的推進
- 学校への依頼・指示等の精選・合理化等
- 給食費の公会計化推進、学校徴収金の口座振替納付、事務職員等による未納金督促
- 教員と事務職員との業務連携・分担の在り方、見直し